

風水害・地震災害への備え

近年、全国各地で集中豪雨などによる多くの被害が発生しています。日頃から防災気象情報に気を配り、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集し、災害に備えましょう。

自宅の周りの危険を確認

自宅やその周辺にどのような災害の危険性があるか日頃から情報収集しましょう。

- 佐世保市防災ポータル
ハザードマップをはじめ避難情報（高齢者等避難や避難指示など）が発令されている地区や、開設している避難所を1つの画面で確認できます。スマートフォンなどで確認してください。
- 防災ラジオ
本紙9ページをご覧ください。
- 佐世保市防災情報メールや佐世保市 LINE 公式アカウント、防災アプリに事前に登録し、いざという時に備えましょう



防災ポータル

市 HP
(防災情報メール)市 HP (LINE 公式
アカウント)市 HP
(防災アプリ)

避難所に持っていくもの



避難するときは、水や食料の他、タオル、洗面具、マスク、常備薬などが必要です。日頃から家庭や個人の実情に合わせて準備し、リュックサックなどに詰めていつでも持ち出せるようにしておきましょう。
また、自宅での安全確保が不安な人は、近くの避難所や経路を事前に確認し、災害に備えましょう。

市 HP
(避難所)市 HP
(避難行動シート)

☎防災危機管理局 ☎ 24-1111

ペットの防災対策

ペットを守ることができるのは飼い主だけです。日頃からペットの防災対策を行いましょう。

- 不必要に鳴かない、トイレは決められたところとするなどのしつけを行いましょう
- ワクチン接種、ノミ・ダニの駆除などの健康管理を行いましょう
- ペットと離れ離れになったときのために、迷子札やマイクロチップを装着し、犬の場合は鑑札と注射済票を付けましょう
- 避難する際にペットを預けることができる親戚や知人などの一時預かり場所を準備しましょう
- ケージやキャリーバッグに普段から慣らしておきましょう
- 餌や薬、ペットシートなど必要な物は備蓄しておきましょう

ペットと同行避難ができる避難所（開設時）

世知原・清水・三川内・山澄地区コミュニティセンター

- ペットの管理は飼い主の責任です。避難所にペットに関する備蓄品はありません
- ペットは飼い主と避難所内の別の場所で避難となります
- 鳴き声やにおいなど他の避難者へ十分配慮し、お互いが不快な思いをしないよう心掛けをお願いします
- 各避難所の受け入れ数には限りがあります

市 HP
(ペット同行避難所)

☎動物愛護センター ☎ 42-3300

6 月は「環境月間」です



1972 年 6 月 5 日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、6 月 5 日を国連では「世界環境デー」、日本では「環境の日」と定めています。環境省は、「環境の日」を含む 6 月の 1 カ月間を「環境月間」とし、全国各地でさまざまな取り組みが行われます。

環境省 HP
(環境の日 & 環境月間)

日々の生活の中で実践できる「環境保全」への取り組み

環境保全といっても取り組みは多岐にわたり、何から取り組んでよいか分からないという人も多いと思います。そこで、日常生活の中で気軽実践できる環境保全への取り組みを 3 つ紹介します。

ごみを
分別しよう

ごみの適切な分別が、自然界へのプラスチックごみの流出を防ぐとともに、リサイクル率の向上によって資源の無駄を減らすことにつながります。

生活排水を
減らそう

水質汚濁を防ぎ、水生生物の生態系が保護されます。さらに排水処理施設への負担を軽減でき、二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

身近な自然に
関心を持とう

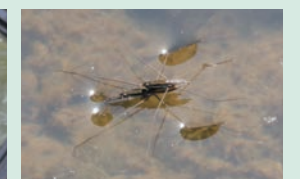
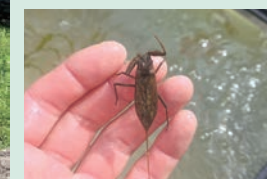
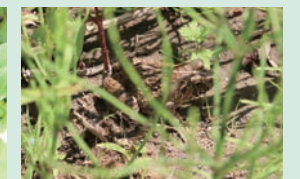
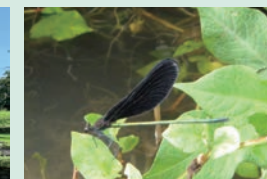
散歩やレジャー、自然観察会に参加するなど、身近にある豊かな自然に触れることで、自然を守り育む意識を高めるきっかけになります。

県内
4 例目

小森川の一部区域（三川内地区）が自然共生サイトに認定

皆さんの協力によって育まれた、自然や生物多様性の豊かさが高く評価され、小森川の三川内地区を流れる今福橋から新行江農道橋までの一部区間が、環境省から「自然共生サイト」に認定されました。

この自然共生サイトへの認定や環境月間を機に、環境について改めて考え、一人一人ができることから取り組み、美しい佐世保の自然を未来へ受け継ぎましょう。



☎ゼロカーボンシティ推進室 ☎ 37-6255